

地域(あなた)と関係人口(わたし)との持続的な関係構築を目指して

(公社)中越防災安全推進機構 業務執行理事 統括本部長
総務省地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー
総務省地域力創造アドバイザー

稲垣文彦 博士(工学)

本日の内容

1. わたし(関係人口)とあなた(地域)が求める関係から考える関係人口の4つのパターン
まずは、頭の整理から(あなたの自治体はどのタイプ?)

2. ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)×地域に暮らし続けたいあなた(地域)

これまでパターン1の事例紹介が多かったから、あえて、ここではパターン3の紹介と解説

○ターゲット:モヤモヤしている大学生

○関わりしろ:地域住民のエンパワーメント

○目指す地域像

:外部人材を受け入れる開放的な地域

※わたしとあなたがお互いに名前呼び合う関係に

:関係人口の好循環

※わたしがあなたの良さに気づき→あなたが主体(活動)的に→そんなあなたに共感

し→わたしが増える好循環

わたし(関係人口)→あなた(活動人口)→新しいわたし(関係人口)→

3. 全てのパターンで共通して大切なこと

4. 中間支援組織としての「にいがたイナカレッジ」の取組

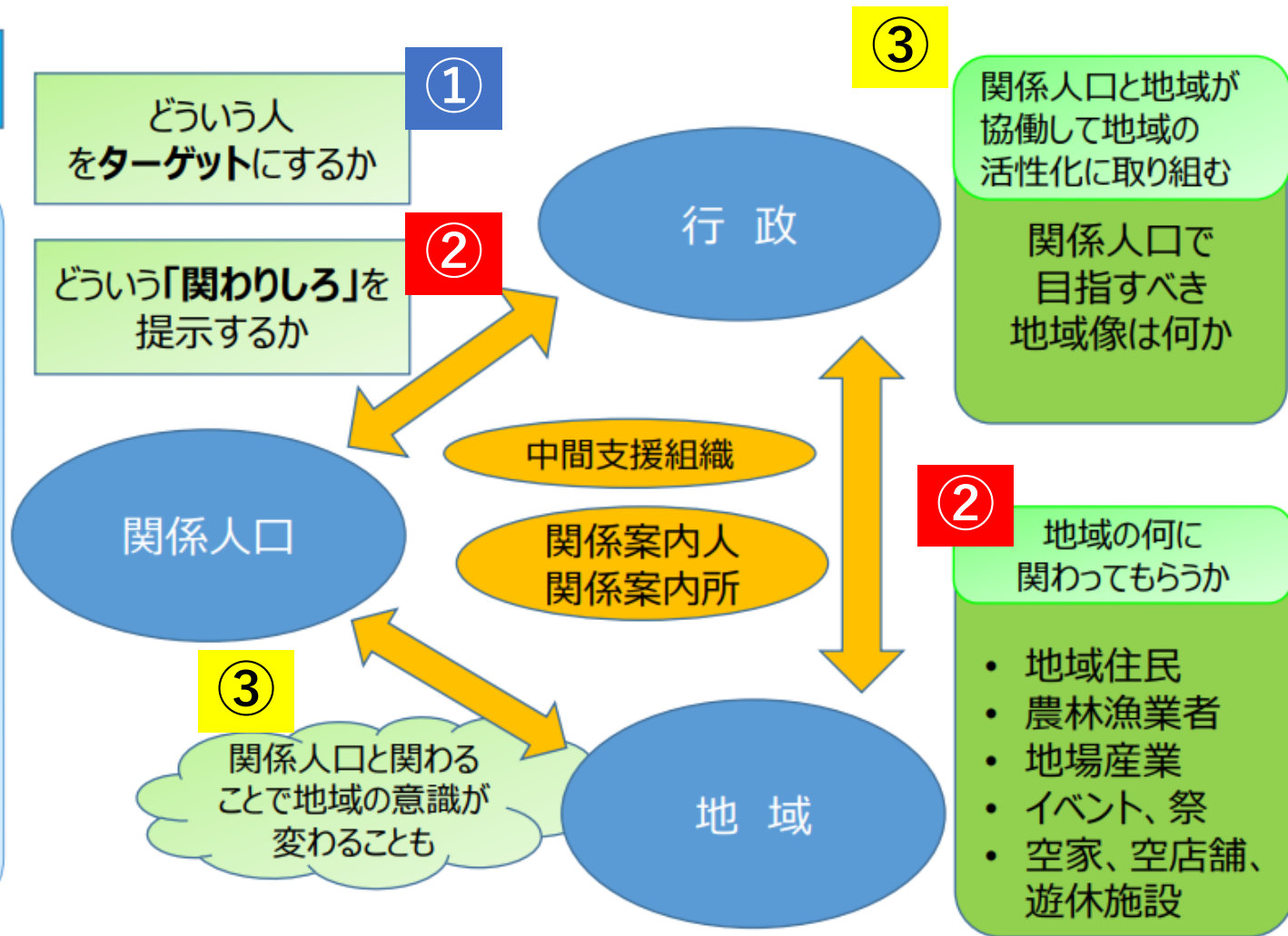
関係人口、移住定住促進、地域おこし協力隊、農業の担い手確保等を実施

※関係人口等でお困りの時は、にいがたイナカレッジにお気軽にご相談ください。

関係人口の取り組みで目指すべきものを実現するために

関係人口の候補

- 出身者
- 過去に勤務居住
- ふるさと納税者
- 観光リピーター
- 地域と関係する趣味を持つ人
- クリエーターなど
- 副業人材
- 地域振興に興味を持つ人
- 大都市の人
- 近隣の都市住民
- 若者
- 経験を有する人

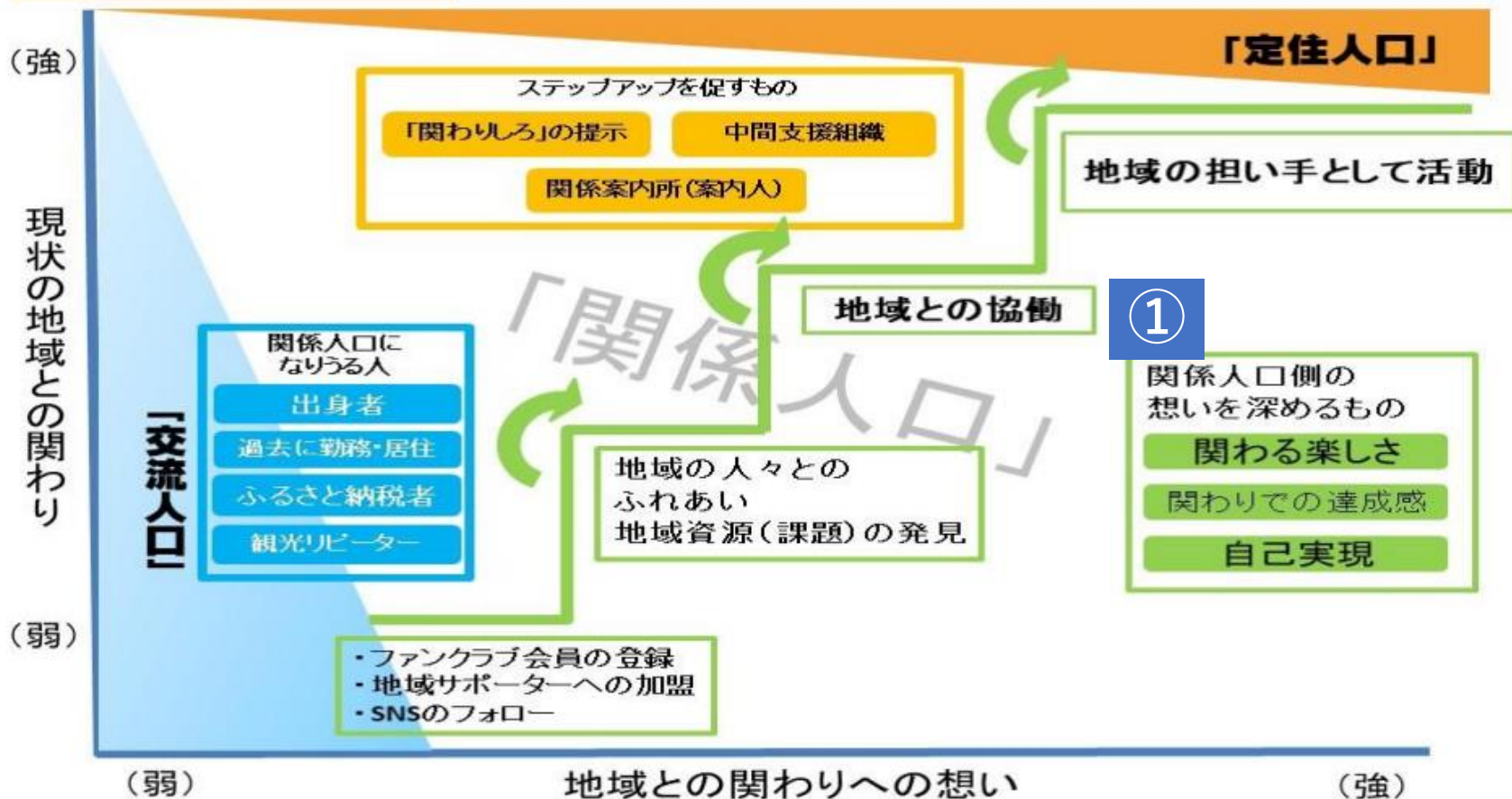


関係人口のステップアップ

○「関係人口」には地域との関わりや想いの強さに応じて様々な段階が存在

○「関係人口」に地域づくりの担い手になってもらうためには、ステップアップを促していくことが必要

関係人口のイメージ



(出典)総務省地域力創造グループ地域自立応援課作成資料「関係人口の創出・拡大・深化にむけた取組について」

本日の内容

1. **わたし(関係人口)**と**あなた(地域)**が求める関係から考える関係人口の4つのパターン
まずは、頭の整理から(あなたの自治体はどのタイプ?)

2. ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)×地域に暮らし続けたいあなた(地域)

これまでパターン1の事例紹介が多かったから、あえて、ここではパターン3の紹介と解説

○ターゲット:モヤモヤしている大学生

○関わりしろ:地域住民のエンパワーメント

○目指す地域像

:外部人材を受け入れる開放的な地域

※わたしとあなたがお互いに名前呼び合う関係に

:関係人口の好循環

※わたしがあなたの良さに気づき→あなたが主体(活動)的に→そんなあなたに共感

し→わたしが増える好循環

わたし(関係人口)→あなた(活動人口)→新しいわたし(関係人口)→

3. 全てのパターンで共通して大切なこと

4. 中間支援組織としての「にいがたイナカレッジ」の取組

関係人口、移住定住促進、地域おこし協力隊、農業の担い手確保等を実施

※関係人口等でお困りの時は、にいがたイナカレッジにお気軽にご相談ください。

わたしとあなたが求める 関係から考える

関係人口の4つのパターン

課題を解決してほしい
あなた（地域）

(住民は本当にそう思っている?)

※これだけではないです。
頭の整理のためのものです。

パターン
4

パターン
1

②

ヨガ的な関わりを
求めるわたし（関係人口）
（自分らしい生き方を模索）
※関わる楽しさ、自己実現
地域で癒されたい

①

マッチョ的な関わりを
求めるわたし（関係人口）
（キャリアアップ・
スキルアップ志向）
※関りでの達成感、自己実現
地域で活躍したい

パターン
3

パターン
2

地域に暮らし続けたい
あなた（地域）
(でも、ちょっとあきらめている)

課題を解決してほしい
あなた

ヨガ的な関わりを求める
わたし



課題を解決してほしい
あなた

マッチョ的な関わりを求める
わたし



課題を解決してほしい
あなた

ヨガ的な関わりを
求めるわたし

マッチョ的な関わりを
求めるわたし

ヨガ的な関わりを求める
わたし



地域に暮らし続けたい
あなた

マッチョ的な関わりを求める
わたし



地域に暮らし続けたい
あなた

地域に暮らし続けたい
あなた

自治体が好む傾向

- ・ ミッション型
- ・ 課題解決志向

課題を解決してほしい
あなた

- ・ 地域から期待されていない。
→でも、実はすごいスキル等を持っていた。
(デザイン、IT、人的ネットワーク等)
→ヨガ的な関わりも求めるわたしは、課題解決には関りたくないというのが本音
(だって都会の自分と同じじゃん)
→最終的には好きな地域のためにひと肌ぐことに

ヨガ的な関わりを
求めるわたし

- ・ 行政に苦手意識がある。
- ・ 評価、成果がわかりにくい等、やらない・やれない理由がすぐに見つかる。
→でも、「ヨガ的な関わりを求めているわたし」は意外と多い(ねらい目)
※にいがたイナカレッジが狙うターゲット
隙間を狙う!

NPO等が好む傾向

- ・ コミュニティ型
- ・ 主体形成志向

地域に暮らし続けたい
あなた

- ・ 上下関係になりやすい。
- ・ 役所目線の「課題」になりやすい。
→役所の「関係人口」を作るの?
地域住民は置いてけぼり
- ・ 評価、成果がわかりやすい。
→でも、実は「マッチョなわたし」はそんなにいない。
(「マッチョ的な関わりを求めるわたし」は勘違いしている人が多い)

マッチョ的な関わりを
求めるわたし

- ・ 上から目線で、住民から総スキャン
→でも、こんな事例が
ミッションに関わりながら、住民との交流(こっちのほうが楽しい)も満喫

本日の内容

1. わたし(関係人口)とあなた(地域)が求める関係から考える関係人口の4つのパターン
まずは、頭の整理から(あなたの自治体はどのタイプ?)

2. ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)×地域に暮らし続けたいあなた(地域)

これまでパターン1の事例紹介が多かったから、あえてここではパターン3の紹介と解説

○ターゲット:モヤモヤしている大学生

○関わりしろ:地域住民のエンパワーメント

○目指す地域像

:外部人材を受け入れる開放的な地域

※わたしとあなたがお互いに名前呼び合う関係に

:関係人口の好循環

※わたしがあなたの良さに気づき→あなたが主体(活動)的に→そんなあなたに共感

し→わたしが増える好循環

わたし(関係人口)→あなた(活動人口)→新しいわたし(関係人口)→

3. 全てのパターンで共通して大切なこと

4. 中間支援組織としての「にいがたイナカレッジ」の取組

関係人口、移住定住促進、地域おこし協力隊、農業の担い手確保等実施

※関係人口等でお困りの時は、にいがたイナカレッジにお気軽にご相談ください。

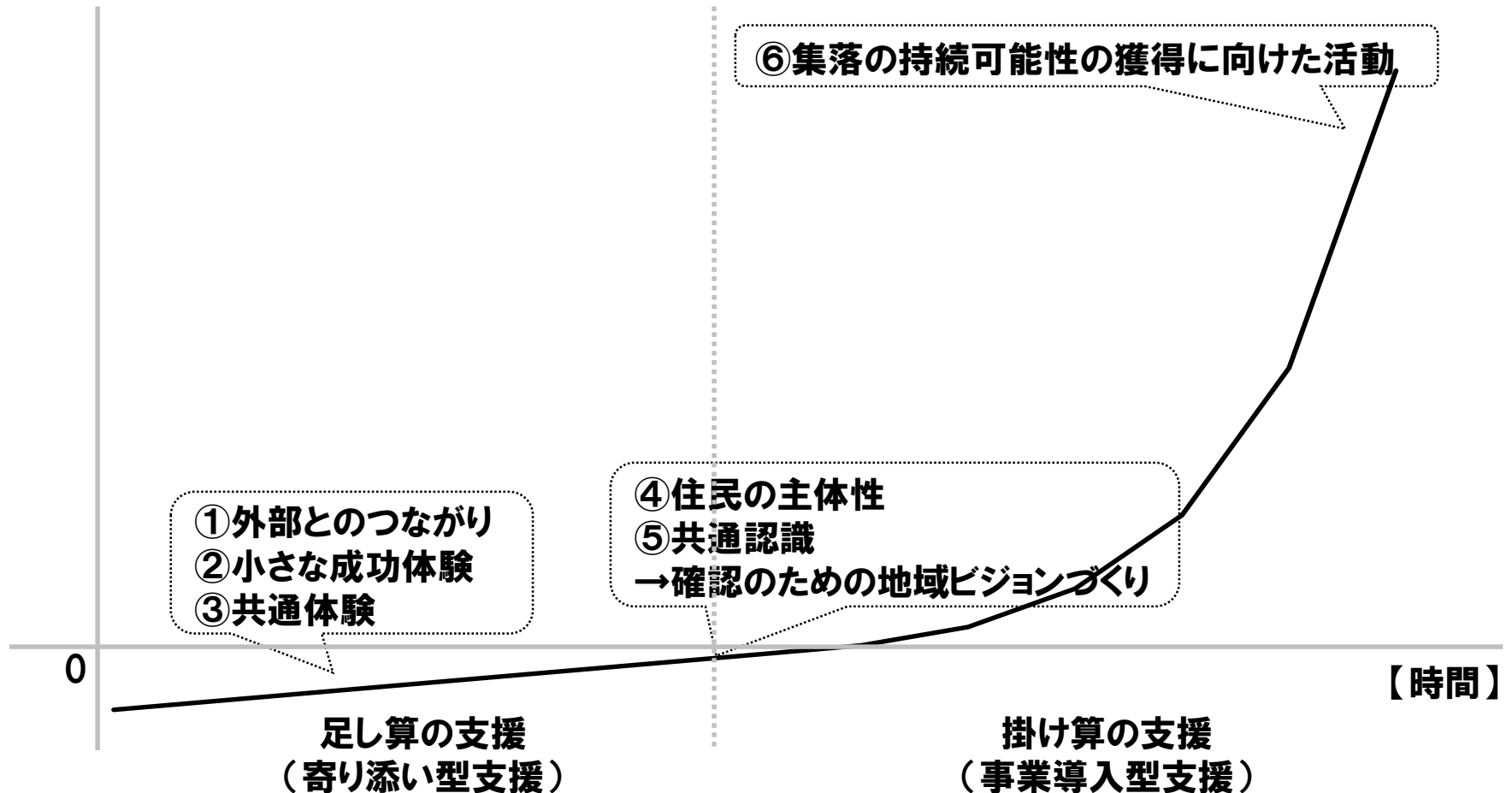
「エンパワーメント」の考え方は、地域づくりに欠かせない！

地域づくりの足し算と掛け算の法則

(外部人材を活用した地域づくりの考え方)

【地域力】

【地域力創造曲線】

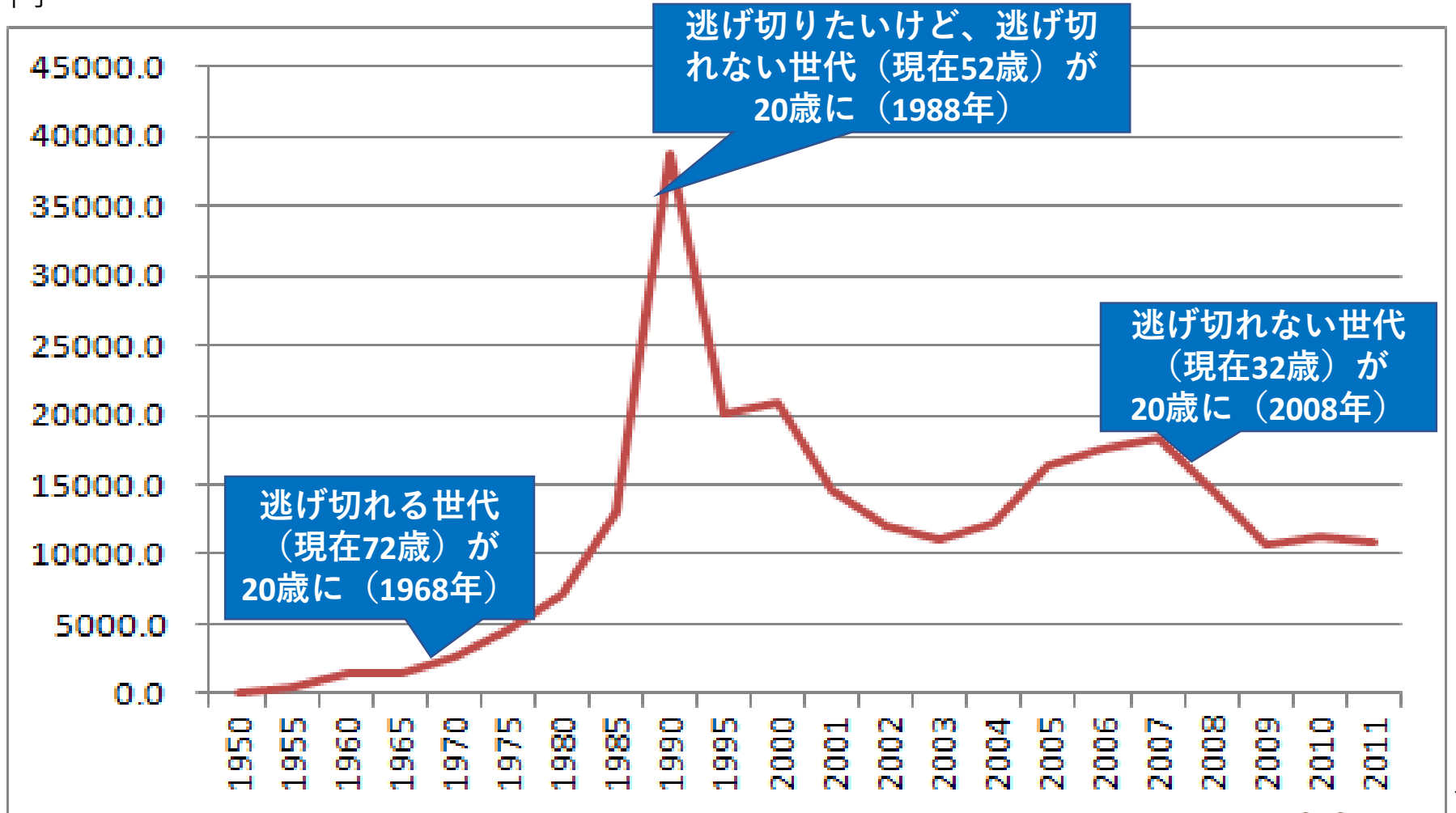


わたし

ターゲット:モヤモヤする大学生 ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)

モヤモヤする逃げ切れない世代(親は安定した大企業に入れっというけど、本当にそれで良いの?)
+コロナ禍でのモヤモヤする世代の広がり(ステイホームで、わたしの人生、本当にこれで良いの?)

円



日経平均株価の推移

にいがた  カレッジ

地域と自分の価値探求コミュニティ



わたしの
つぶやき

「なりたかった自分が見つかった。」

「第2の“ふるさと”と呼べる場所が出来ました。帰って来たくなる場所になりました。」

「普段は目を背けたくなる自分自身と向き合うことができました。」

「地域の人たちと触れ合う中で、“生きている喜び”を感じられました。」

「自然と向き合う。五感を感じる。自分と向き合う時間を作る。今の私を受け入れる。心の「豊かさ」のヒントを学びました。」

③

あなたの つぶやき

「ムラの人が普段話さないようなことを大学生達に話している姿を見て、『こういうの良いなあ』って思いました。」

「あなた達が来てくれて、家に明かりが灯された。それがすごく嬉しかったのよ。」

「学生がいることで、集落の若い人たちが集まりに出やすくなったと思います。こういった世代を超えて集まれる場をこれからも継続して作っていききたいですね。」

③おまけ

行政 担当者の つぶやき

「インターンをやったことで集落の人達が盛り上がって、地域おこし協力隊を導入することになりました。」

「インターンが終わってからも遊びに来てくれたりするのが本当にうれしいです。」

「これ、一回やったら中毒になりますね。」

「『こんな良いことを何でもっとたくさんやらないんだ!』って村長に怒られました。」

本日の内容

1. わたし(関係人口)とあなた(地域)が求める関係から考える関係人口の4つのパターン
まずは、頭の整理から(あなたの自治体はどのタイプ?)

2. ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)×地域に暮らし続けたいあなた(地域)

これまでパターン1の事例紹介が多かったから、あえて、ここではパターン3の紹介と解説

○ターゲット:モヤモヤしている大学生

○関わりしろ:地域住民のエンパワーメント

○目指す地域像

:外部人材を受け入れる開放的な地域

※わたしとあなたがお互いに名前呼び合う関係に

:関係人口の好循環

※わたしがあなたの良さに気づき→あなたが主体(活動)的に→そんなあなたに共感

し→わたしが増える好循環

わたし(関係人口)→あなた(活動人口)→新しいわたし(関係人口)→

3. 全てのパターンで共通して大切なこと

4. 中間支援組織としての「にいがたイナカレッジ」の取組

関係人口、移住定住促進、地域おこし協力隊、農業の担い手確保等を実施

※関係人口等でお困りの時は、にいがたイナカレッジにお気軽にご相談ください。

全てのパターンで共通して大切なこと

課題を解決してほしいあなた

都会で・職場で出会えない地域の人たちとの新鮮な出会い
→出会いから、予想してもいなかった新たな発想、新たな才能、新たな生き方、新たなコラボ等が生まれるのおもしろさ

ヨガ的な関わりを
求めるわたし

・ 出会いの
偶然性、意外性
その出会いによる
予期せぬ気づきや発見
(わくわく感)

マッチョ的な関わりを
求めるわたし

・ 持続のためには
ウイン・ウインの関係
互いをリスペクト
共感

課題解決とかいっていても、
盛り上がって、記憶に残るのはやっぱり飲み会等の交流
※顔の見える関係→また来たい(あの人に会いたい)

地域に暮らし続けたいあなた

出会いの偶然性、意外性、その出会いによる予期せぬ気づきや発見（わくわく感）
持続のためには、ウイン・ウインの関係、互いをリスペクト、共感
そのためには、**わたしとあなた**の足し算的な関わり方が重要

【関係人口・わたしとあなたの気持ちの変化曲線】

わたし 「やっぱり、わたし間違っていなかった」
「新しい自分の発見があった」
「自分らしい生き方を見つけられた」
あなた 「ここに生まれて良かった」
「今、本当にしあわせ」
「認められたことが何より嬉しい」

【かけがえのないわたし】×
【かけがいのない地域のかけがえのないあなた】

わたしと地域の人たちの足し算的な関わり方を
コーディネート（関係案内人の役割）

- ①わたしとあなたの出会い（交流の鏡効果）
- ②お互いの小さな成功体験の積み重ね
- ③お互いの楽しい共通体験の積み重ね

0

【時間】

他人のモノサシ、世間のモノサシ ➡ 自分のモノサシ、地域のモノサシ

【モヤモヤしたわたし】×【あきらめている地域の人たち】

本日の内容

1. わたし(関係人口)とあなた(地域)が求める関係から考える関係人口の4つのパターン
まずは、頭の整理から(あなたの自治体はどのタイプ?)

2. ヨガ的な関わりを求めるわたし(関係人口)×地域に暮らし続けたいあなた(地域)

これまでパターン1の事例紹介が多かったから、あえて、ここではパターン3の紹介と解説

○ターゲット:モヤモヤしている大学生

○関わりしろ:地域住民のエンパワーメント

○目指す地域像

:外部人材を受け入れる開放的な地域

※わたしとあなたがお互いに名前呼び合う関係に

:関係人口の好循環

※わたしがあなたの良さに気づき→あなたが主体(活動)的に→そんなあなたに共感

し→わたしが増える好循環

わたし(関係人口)→あなた(活動人口)→新しいわたし(関係人口)→

3. 全てのパターンで共通して大切なこと

4. 中間支援組織としての「にいがたイナカレッジ」の取組

関係人口、移住定住促進、地域おこし協力隊、農業の担い手確保等を実施

※関係人口等でお困りの時は、にいがたイナカレッジにお気軽にご相談ください。

にいがたイナカレッジ

地域と自分の価値探求コミュニティ

【目指すもの】 地域に共感して、一緒に汗を流して一緒に活動する“多様な担い手”を増やしたい。

—過疎化が進んでもその地域に関わる人や応援してくれる人（共感者）がいて、それによって地域の人たちが「まだまだ頑張れる」という前向きな気持ちで暮らし続けられる地域・人を残していきたい。

—都市に暮らす若者等にとって、農村地域の人や暮らしに触れることで様々な価値観に出会い、自分に合った“生き方”を見つけるきっかけを作りたい。

イナカレッジプログラム

イナカレッジラボ、はたらくくらすラボ

目的：都市部在住の地方に興味がある若者との関係性づくり。イナカレッジに参加してもらうきっかけづくり。

内容：地方で何かやりたいと考えている若者に対して、一人ひとりの要望の応じたプログラムづくり・提供や、これからの生き方に悩む若者の人生相談など。

お米レター（R2年度）

目的：お米と手紙からはじまる地域と学生との関係性づくり
内容：県内一人暮らし学生を対象に、農村地域から米と手紙を発送し、受け取った学生から農家にお礼の手紙と料理の写真を郵送。その後お礼・お手伝いツアーを実施。

おてつだいPlus（R2年度試験実施）

目的：県内に住む若者と地域・農家との関係性づくり。
内容：農作業の繁忙期、地域の共同作業やイベント等の単発的なお手伝いに対して、お金ではないお駄賃を提供。

ツアー型地域づくりプログラム【魚沼市、村上市、新潟市】

目的：地域に興味を持つ人を増やす。地域に共感して一緒に汗を流してくれる担い手を育成する。

内容：都市部に暮らす人々を対象に、地域の課題解決や地域のプロジェクトに関わり、メンバーの一員となって一緒に地域づくりを実践するプログラム。

地域実践型インターン【柏崎市・出雲崎町・関川村・村上市】

目的：学生の学び・成長×地域の課題解決等を図りつつ、地域に関わる担い手を育成

内容：【期間】1か月／【プログラム】単なる労働力の提供ではなく、地域に応じたテーマを設定して活動する実践型農村インターンシップ。
【実績】(H28) 9地域22名 (H29) 5地域15名 (H30) 8地域24名 (R1) 15名

地域型1年インターン（H24～29）【中越地域】

目的：中越の農山村の担い手確保・育成
内容：【期間】1年間／【生活費補助】5万円/月／【主な対象】社会人（学生）／【プログラム】地域の仕事や暮らしを学び、自分にあったライフスタイルを見つける・創る・実現する。

アグリパス【小千谷市内】

目的：新規就農・農業に関りを持つ担い手の育成。繁忙期の農業者の人手不足解消。

内容：【期間】1年間／【生活費補助】8.5万円/月／【プログラム】農家のお手伝いと集落の暮らしからはじまるライフスタイル型就農プログラム。

地方に関わる きっかけづくり

日帰り・数日型 プログラム

通い型 プログラム

滞在型 プログラム

長期滞在型 プログラム

自治体サポート事業

移住プロモーション・ライフスタイルカフェ

【新潟県、新発田市、柏崎市】

目的：新潟に興味を持つ人を増やす。個人情報の取得。
内容：東京で“地方”“新潟”を喚起するイベントや移住相談会を開催。（H30テーマ『ローカルとアート』『起業×新潟』『地域旅×新潟』『ウィンタースポーツ×新潟』『リモートワーク×新潟』『新潟×食と農』『ローカル家計簿』）

にいがた暮らし相談員設置業務【新潟県】

目的：新潟県への移住・交流人口の増加を図る。首都圏の移住希望者の実態把握および個人情報取得。
内容：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内に「にいがた暮らしコーディネーター」を配置し、移住相談および県内市町村への橋渡し役を担う。

地域おこし協力隊受入体制づくり・募集支援・コーディネート【出雲崎町、新発田市、柏崎市】

目的：地域にとっても協力隊にとってもwinwinな地域おこし協力隊制度の運用。
内容：受入地域に対する協力隊の正しい理解、プログラムづくり、募集活動、導入後のフォローアップなど、市町村単位の地域おこし協力隊に関わる総合的サポート。

地域おこし協力隊研修【新潟県】

目的：新潟県内の地域おこし協力隊の円滑な運用をサポート
内容：新任協力隊対象、任期終了を見据えた協力隊対象研修会をそれぞれ実施

移住者受入研修【県内18市町村】

目的：県内の移住者受入の機運づくり・体制づくり。
内容：地域住民等を対象に、移住者を受け入れるための具体的なノウハウなどを学ぶ研修会を実施。ワークショップを通じて、移住者受入を活発化していくための具体的なアイデア出しを行う。

地域サポート

中山間地域等直接支払い事務局【小千谷市】

目的：中山間地域等直接支払い制度の円滑な運用とこれをきっかけに中山間地域の農業の課題解決に向けた支援。
内容：広域協定事務局としての事務作業。試行加算事業等を活用した担い手育成など。

地域の話し合い支援・ビジョン策定【上越市・三条市・新発田市・妙高市】

目的：地域内での話し合いや合意形成・計画策定。
内容：地域住民へのヒアリングやワークショップ等を通じて、課題の整理、地域の目指す方向性、それらにもとづく具体的な活動展開などの話し合いや計画策定を支援。

道の駅・農産物直売所開業支援業務【群馬県片品村・長野県栄村ほか】

内容：道の駅や農産物直売所の開業に向けた各種調査、アンケート、国等の公的資金活用申請、基本構想・基本計画策定、開業に向けた農業者等の機運づくり・出荷者組織立ち上げ、店舗の運営等をサポート。

市民協働推進計画策定・条例【新発田市・長岡市】

目的：市民協働推進に向けた計画策定に関わる総合サポート。
内容：市民アンケート、活動団体ヒアリング、委員会の運営、計画素案づくりなど。

復興地域づくり【糸魚川市】

目的：糸魚川大火（2016.12発生）の復興地域づくりの推進。
内容：大火跡地の利活用と市民協働の仕組みづくり。復興地域づくりに向けたワークショップや具体的な地域活動・団体の立ち上げおよび活動の支援など。

れつ てわたし
TSUKATASHI

目的：地域のこだわりの生産者と紹介者の結びつき、消費者とのつながりづくり

内容：地域にある“これは！”と思う商品、ファンがPRする紹介型webサイト。